

兵高教組

2025年 9月8日

# 調査情報16号

兵庫県高等学校教職員組合調査部  
TEL: 078-341-6745 FAX: 078-351-3185  
URL: <http://www.hyogo-kokyoso.com>  
mail: honbu@hyogo-kokyoso.com

## 全世代への賃金UP、通勤手当の見直し、常勤講師の2級適用、等 私たちの賃金権利の向上のために、よりよい勧告を求めて

### 第1回人事委員会交渉

9月5日、高教組は、兵庫教組(小中学校の組合)とともに、「2025年度兵庫県人事委員会勧告にあたっての要求書」を兵庫県人事委員会に提出し趣旨説明をしました。

人事委員会は、第三者機関として、県内の民間と県職員の賃金や手当の差などの均衡を図るために調査し、また組合側と県教育委員会側との意見を聞き、改善点を兵庫県知事と県議会に「人事委員会勧告」として10月の初め頃に出します。

「人事委員会勧告」を基準に、10月後半から、高教組と県教育委員会との間で賃金権利を改善させる交渉が始まるため、人事委員会との交渉(会見)は重要です。

### 高教組・兵庫教組からの主な意見(要求)

#### 公民比較対象企業の規模を

「50人以上」から「100人以上」に  
国人事院勧告で示された官民の較差  
3.62%は、国が対処企業を「100人以上」  
とした結果。兵庫県も同様に変更を。

#### 中高年層の賃金改善と

##### 再任用職員の待遇改善を

人材確保のために若年層に重点を置くことは理解できるが、世代間の分断が生じないよう全世代への賃金UPの勧告を。

#### 交通用具使用者の通勤手当見直しを

昨年の交通機関利用者の手当を見直しに続く改善を、国の改善に従い、駐車場料金・有料道路料金含めて見直しを。

#### 教職員未配置が多忙化に直結し、

##### 病気休暇が増え続けている

県教委の様々な措置も、結果として「未配置は改善されず」抜本的な改善の勧告を。

#### 改定給特法に關わって

・「主務教諭」は不要  
・教職調整額毎年1%ずつUPに対し、  
義務教育等教員特別手当(引き下げ)  
「給料の調整額」

反対

「主務教諭」設置は職場の同僚性を壊す。  
調整額引き上げのために、他の手当を  
引き下げるることは容認できない。

#### 臨時的任用職員の2級適用を

給特法の参議院附帯決議に「国は2級発令とすることが可能であることを教育委員会に周知徹底」とある。勧告でも。

#### 会計年度任用職員の

任用回数・給料表の上限の撤廃を  
総務省の24年6月と25年6月の通知で  
改正で「できる」とあるので、是非勧告を。  
教員より他の職員の方が病休率が高い  
精神疾患の病休取得可能期間を2年に。



兵庫県人事委員会に両教組の要求書を提出する

兵庫教組三上委員長(右)

### 会場参加者からの意見(要求)

#### 給料の調整額の減額は納得がいかない

特別支援教育の特殊性が薄まつたというのが理由のようですが、現実をみていない。年々特別支援学校への入学生が増加しており、ひとりひとりの子どもも発達段階や特性に応じて指導支援している。医療的ケア児や行動障害などの子どもたちの支援には気を抜くことができない日常があり専門性、特殊性、困難性が増している現状です。



中西障教組  
委員長

#### 再任用職員の賃金改善

定年後に再任用になった後、職員減で、分掌量が増えた。しかし賃金が6割。

#### 会計年度任用職員には超過勤務手当を

昨年度、災害時の緊急対応には超勤手当を支給と回答されたが、通常でも、授業の準備などで超勤は常態化している。

#### 若い世代が働き続けられる職場環境を

昨年、私と同じ学校で同世代(30代)が2名も退職しました。とても教育に熱心だったのに。理由は多忙化。引き留めることもできないくらい疲弊していた。

#### 非常勤講師の待遇改善を

非常勤講師10人でPCを2台を共有。1人1台ぐらいには待遇改善を。



### 兵庫県人事委員会からの回答

8月7日の人事院勧告は、私共の人事委員会が勧告をする前提となる重要なものであると認識しております。現在、公民格差、民間の一時金の状況について、鋭意精査を行っているところです。現時点では、個別の要求項目について具体的な回答を差し上げられる段階にはありませんが、皆様方からの要求は、現場の特徴を踏まえた切実な声に基づくものであると認識しております。

いずれにしましても、公平かつ公正な第三者機関としての本委員会の使命を果たせますように、本年の勧告報告に向けて、本日もいただいた内容や趣旨、国や他の都道府県の状況も考慮しながら、適切な勧告報告になるように検討して行きたいと考えております。

### 学校が魅力に満ちたものとなる勧告を

藤本高教組委員長終わりの挨拶

我々は長時間勤務ですり減らされている状況があります。精神疾患や離職者が増えているという状況があります。我々の要求書には、その解決の方向として我々が考えているものがあります。



中高年世代がしんどそうに仕事をしていると、若い人が続けていけるかと不安になるだろうし、しんどい時にお互い助け合って共同し合って仕事をするという学校の良さを、反対の方向にもっていく分断を図るような制度については規制して欲しいです。

学校が魅力に満ちたものとなるよう私たちの職場を改善の方向に導いていただけるような勧告を是非ともお願ひいたします。

次回交渉は9月17日(水)

分会ごとの「人事委員会勧告に向けた要求書」集約中です。